



南中だより

教育目標 愛 勉学 自主性 健康

令和2年12月8日

東久留米市立南中学校

校長 小川 高弘

世界人権デー

校長 小川 高弘

8月24日から始まった2学期も、残り2週間余りとなりました。教室内の「密」は避けられない場面もありますが、できる限りの感染症対策を行い、行事を精選・縮小して、教育活動を進めてきました。特に、運動会を縮小した「南中スポーツデー」では、数少ない全校生徒が一堂に会する場面として、3年生を先頭に一生懸命に行事に取り組む生徒の姿を見ることができました。保護者や地域の皆様に応援していただくことができず、申し訳ございませんでした。また、行事の精選だけでなく、2学期には計7回の土曜授業（中間審査を含む）を行うことで、授業時数の確保にも努めています。3学期も感染予防に努めてまいります。ご理解・ご協力をお願いいたします。

昭和23（1948）年12月10日、国連総会で「世界人権宣言」が採択されたことを記念し、12月10日を「世界人権デー」とし、日本では12月4日～10日までを人権週間としています。そこで、12月7日の全校朝礼では、次のように人権について話をしました。



人権って何ですか？ 全ての人が生まれながらにもっている、幸せに生活する権利のことです。幸せの基準は人それぞれ違いますから、自分の幸せを押し付けるわけにはいきません。

最近、人への思いやりが薄れているとか、自分の権利だけを主張しているとか、そういう人が多くなったと言われていました。また、自分の考えだけを主張するから、偏見や差別が生まれます。特に、コロナウイルスの感染者や医療従事者への誹謗中傷が、今も止まりません。感染した人は自分からわざわざ感染しようと思ったのでしょうか。治療にあたる人は、必ず感染するのでしょうか。自分の考えだけを主張することによって、他の人を傷つけています。自分にはどうしようもできないことで、傷つけられている人が大勢います。

みなさんの学校生活に置き換えたらどうでしょうか。学校での幸せ、それは皆さんが学校に毎日、楽しく登校することが基本になります。「楽しく」も人によって基準は違います。授業が楽しい、部活が楽しい、友達付き合いが楽しい、人それぞれあると思います。人に対していやなことを言ったり、言われたり、意地悪したり、されたり、こういうことがないことが一番の基本になるのではないのでしょうか。他の人への思いやりとか、人との違い、優れているところをお互いに認め合いましょ

今年1年間の南中の教育活動について、12月9日に学校評価アンケートを配布します。お手数をおかけしますが、ご協力ください。

○ 小中連携の日（中学校体験入学） 11月11日（水）

南中学区内小学校6年生が、授業と部活動の体験に集まりました。体育館で生徒会役員から、南中の全体説明を聞いた後、児童の希望を元に、授業体験と部活動体験を行いました。体験を通して、南中の様子を少しでも知ることができたでしょうか。案内や部活動で指導をした中学生も南中の先輩として姿を見せることができました。来年4月の入学が楽しみです。



○ 演劇部 第五小学校へ出前公演 12月3日（木）

三者面談で午後の授業がカットされた時間を利用して、第五小学校1年生に、出前公演を行いました。小学校の先生から「静かに見ましょう」と言われていましたが、次第に声を出して笑ったり、立ち上がったりする児童が増えてきて、児童を夢中にさせる公演でした。今年は地域の行事での公演が中止となっているため、このような機会をつくっていただいた第五小学校の小瀬校長先生に、演劇部一同で感謝の気持ちを伝えました。演劇部は、1月に都大会に出場します。小学1年生の笑顔も練習の励みとして、都大会につなげてくれることを期待します。



南中生の活躍

○バドミントン部

第11ブロック新人大会 男子シングルス 第3位 小松崎 脩輔（2年4組）

○女子バレーボール部

第2回久留米カップ 第3位 優秀選手賞 川瀬 帆那（2年2組）

○「社会を明るくする運動」 感謝状 武藤 美緒（2年1組）・白井 花香（2年2組）
木原 愛莉（2年3組）・佐藤 綾美（2年3組）
鈴木 愛梨（2年4組）・中原 鈴海（2年4組）

○第57回全日本トランポリン競技選手権大会 団体男子

第2位 大泉スワロー体育クラブ 寺沢 健太（3年1組）